

農業担い手メールマガジン（第119号）

インデックス

- 現場の皆さんへ
～農業経営にも必要！ 経営ビジョンと経営戦略・戦術～
- 事業活用のポイント ～農業法人の新しい取組への支援です～
- 担い手のための耳寄り新技術 ～新地下水位制御システムF O E A S～

現場の皆さんへ

～農業経営にも必要！ 経営ビジョンと経営戦略・戦術～

皆さんは、普段、どんなことを目標に農業経営を行っていらっしゃるでしょうか。農業経営も「経営」である以上、何らかの夢や目標を持っていた方が、それらに向かって仕事をするというインセンティブを持ちやすくなりますし、それを達成した時に、やりがいや達成感を感じることができます。また、ご家族や従業員の皆さんとも、夢や目標が共有化され、一つの方向に向かって力を合わせやすくなります。

では、経営に関する夢や目標はどのように組み立て、設定すればよいのでしょうか。そのポイントは、いくつかの「段階分け」をして設定する点にあります。

まず、経営の将来像や「夢」に当たるのが「経営ビジョン」です。「日本の食の安全に貢献する経営」ですとか、「○○地域の食文化を育む経営」、あるいは「創意工夫を活かした楽しい経営」などという抽象的なもので良いと思います。経営ビジョンは、経営の目指す方向性や将来像を、大胆に表したものがふさわしいといえます。

次に、この「経営ビジョン」を単なる夢で終わらせないための方策が「経営戦略」です。経営戦略は、経営ビジョンに「日本の食の安全に貢献する経営」を掲げる経営でしたら、「食べて安心な生産体制の確立」ですとか、「環境負担の少ない農法の推進」といったような、何をすればよいか具体的な中身が分かるものを、無理のない範囲で、2～3個設定するのが良いでしょう。経営戦略は、「経営ビジョン」のもと、経営の状況に応じて対応可能な「中・長期的な目標」ともいえるものです。

そして、これら「経営戦略」のもとで、短期的（概ね1年間）にどんな行動をしたらよいか具体的に決めたものが「戦術」です。「農薬使用量を何パーセント削減する」とか、「天敵による害虫防除を推進する」というような具体的目標が「戦術」に当たるもので、できればこの戦略は「1カ年のうちに」あるいは「いつまでに」という期限を付けておく方が良いでしょう。

経営が計画通りに進まないような場合には、経営戦略や戦術は適宜見直していく必要がありますが、経営戦略や戦術のように段階を追って目標を組み立てておくと、どの段階のどの目標が良くなかったのか、計画の問題点が見つけやすくなる利点があり

ます。問題点が分かったら、その部分だけ手直しして、もう少し経営を進めてみるということも可能なのです。

「夢を夢で終わらせないための具体的な仕組みづくり」が「ビジョン・戦略・戦術」の考え方の基本です。皆さんも普段思い描いている将来像に現実を少しでも近づけるため、まずは順を追って「経営ビジョン」や「経営戦略」と「戦術」を組み立ててみてはいかがでしょうか。目標を立てるために、経営のことをじっくり振り返ることが、経営の思わぬ発見につながるかも知れません。

ちなみに、農業担い手メルマガジンの「編集ビジョン」は、「メルマガの限界に挑戦！」です。

■ ご意見・ご質問は下記へお願いいたします

→ <https://www.contact.maff.go.jp/maff/form/7b27.html>

事業活用のポイント

～ 農業法人の新しい取組への支援です～

以前、ご紹介した「農業法人経営発展支援事業（ネットワーク形成事業）」について、このほど、第二次募集を開始しました。締切は7月23日（木）（必着）です。

この事業は、農業法人の皆様が、ご自分の経営発展を図るために、地域の農業者や生産組織、流通・加工業者などと連携して生産拡大や販路拡大等の新たな事業展開に取り組む場合、その取組にかかる費用の一部を助成する事業です。

農業法人の皆様が、様々な連携相手と協力して新しいことに取り組む場合に助成の対象となりますので、新たな事業展開のアイデアをお持ちの方は、この事業をぜひご活用ください。

（１）事業実施主体：農業法人（法人の形態は問いません）

（２）助成される取組：

農業法人と他の事業者や団体等とが連携して

ア）新品種の導入等生産面での取組

イ）契約取引等の流通面での取組

ウ）販路開拓や新商品開発等の販売面での取組

など、いずれかの新しい取組を行っていただければ対象となります

（３）助成額等：1モデル当たり補助率1／2で、最大1,000万円まで助成

事業の詳細や公募手続については、農林水産省経営政策課（TEL：03-6744-2143）または、お近くの地方農政局までお問い合わせください。

■ 農業法人経営発展支援事業の詳細はこちら

→ http://www.maff.go.jp/j/ninaite/n_hozin_info/network_zigyo.html

担い手のための耳寄り新技術

～ 新地下水位制御システムFOEAS～

いま、自給率向上のために、水田フル活用が求められています。特に、稲との輪作

で生産される小麦、大麦、大豆など、大部分を輸入に頼っている作物の生産拡大が必要です。そのためには、土地利用型農業で経営を安定させることが重要であり、各作物の安定多収化や省力化による規模拡大等が求められています。

このような複合経営を安定させるには、湿害対策を行う必要があります。一方で、地下水位を低下させすぎると干ばつが発生することもあります。従来の暗渠排水施設では、各作物が生育期別に必要とする地下水位を設定することが困難でした。

そこで、(独)農研機構農村工学研究所と(株)パディ研究所では、ほ場の地下水位調節や水稻栽培時の水管理、暗渠排水機能の維持に必要な管路のメンテナンスが容易に行え、ブロックローテーションの円滑な実施が可能な地下水位制御システム「FOEAS」を開発しました。これによって、水田輪作における畑作物の安定した生産が期待されます。

主なメリットと特徴は次の通りです。

< メリット >

- (1) ほ場全面の地下水位を栽培に最適な水位に調節できるため、大豆などの転作物栽培において、湿害・干ばつを防止し、収量増を実現
- (2) 水位管理が容易で、水稻栽培時の水管理の省力化を実現
- (3) 田畑輪換が自在

< 特徴 >

- (1) 用排水ボックスと水位制御器により暗渠からの給排水と地下水位の制御が可能
- (2) 暗渠(幹線・支線パイプ)に直交するように補助孔(弾丸暗渠など)を密に設けるために、ほ場の隅々に至る水回りが早い
- (3) 幹線パイプ内に堆積した泥などは、容易に除去が可能
- (4) 施工条件が良い場合、30a区画で20万円/10a程度で施工が可能

- FOEASに関するパンフレットは、(独)農研機構農村工学研究所農村総合研究部 水田汎用化システム研究チームのHPよりダウンロードできます

→ http://nkk.naro.affrc.go.jp/soshiki/soshiki04-sogo/08_suidenhanyou/gaiyo.html

- FOEASについては、以下にお問い合わせ下さい

→ yyfuru@affrc.go.jp

(独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 農村工学研究所 企画管理部情報広報課宛 〒305-8609 茨城県つくば市観音台2-1-6 TEL:029-838-8169 FAX:029-838-7609)

- 農業経営に関わるご相談・ご質問は下記へお願いいたします

→ <https://www.contact.maff.go.jp/maff/form/7b27.html>

編集後記

毎日暑い日が続いていますが、皆さんいかがお過ごしでしょうか。

お仕事で疲れた体には、夕方のビールや食事がとてもおいしいですね。でも、食事の前に、10分でも20分でもご自身の「経営」について振り返る時間を設けると、もしかしたら、経営の次の一手が浮かんでくるかも知れません。

暑い夏を、頑張って乗り切りましょう！

(S)

- 電子出版：農業担い手メールマガジン
- 発行日 ：毎月2回発行
- 発行元 ：農林水産省経営局経営政策課 担当：鈴木
農林水産省担い手ホームページもご覧ください！
～担い手への支援策、認定農業者数等、担い手情報満載！！～
→ <http://www.maff.go.jp/j/ninaite/index.html>
このメルマガの配信申込み、バックナンバーはこちらから
→ http://www.maff.go.jp/j/ninaite/n_mailmaga/index.html
このメルマガの配信変更、配信解除、パスワード再発行等はこちらから
→ <http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>